



たまなび | vol.10 |

News

多摩区・3大学連携協議会情報誌

令和8年3月発行

たまなびとは...

たまなびは「多摩区」+情報発信・案内の「ナビ」と地域の皆様と大学生の「学び」を表現した造語です。本情報紙は区にゆかりのある3大学生（専修大学、明治大学、日本女子大学）と地域の皆様の交流・コミュニケーションを促進し、地域連携を活発にすることを目的としています。

車座集会開催 ～3大学と地域がつながるまちづくり～

11月30日（日）に車座集會を専修大学サテライトキャンパスで開催しました。「多摩区・3大学連携協議会」の協定締結20周年を迎えたことを受けて、より一層、地域社会との連携を深めていくため「3大学と地域がつながるまちづくり」をテーマに、3大学の教員、事務局、学生や多摩区ソーシャルデザインセンター（以下、多摩SDC）関係者によるワークショップを実施し、その後、市長と意見交換を行いました。



ワークショップ① 大学と地域の連携

テーマ① 大学の知見を地域に還元、地域を研究のフィールドにする

【主な意見】

- 大事なものは「つながること」、人がつながる仕組み、人が集まる場や仕組みをつくる
- 行政や多摩SDCとの持続的なつながり
- スタッフが入れ替わっても続くマッチングの場の創出

話し合った内容を
グラフィック
レコーディングで
まとめました!



テーマ② 学生によるまちの課題解決・活性化 + 多摩SDCの人材確保・育成

【主な意見】

- 地域課題やデータ等の情報整理、課題に対する地域との交流
- 関係者（大学・企業・行政・多摩SDC）同士のつながりの強化



ワークショップ② 3大学同士の連携

3大学同士の連携室をふし合い、ソーシャル投資でアイデアの共有を行いました。

ワークショップ② ～3大学同士の連携～ 大学教員

連携することのメリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 多摩学教育研究センター ● 共同授業⇒活動助成⇒卒論、研究助成⇒公表⇒地域住民、地元高校生等への発表会
連携してできること・可能性が広がること	<ul style="list-style-type: none"> ● 多摩学教育研究センター ● 共同授業⇒活動助成⇒卒論、研究助成⇒公表⇒地域住民、地元高校生等への発表会
3大学同士の連携室	<ul style="list-style-type: none"> ● 多摩学教育研究センター ● 共同授業⇒活動助成⇒卒論、研究助成⇒公表⇒地域住民、地元高校生等への発表会

ワークショップ② ～3大学同士の連携～ 大学事務局

連携することのメリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 3大学で得意分野を集結させて地域課題の研究を行い、そこに学生が主体的に関われるようにする
連携してできること・可能性が広がること	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生や教員の交流の場、仕組みづくり
3大学同士の連携室	<ul style="list-style-type: none"> ● 3大学で得意分野を集結させて地域課題の研究を行い、そこに学生が主体的に関われるようにする

ワークショップ② ～3大学同士の連携～ 学生

連携することのメリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 学園祭や地域イベントで3大学を回る機会を作る⇒大学ブースの出店や、事前準備での交流
連携してできること・可能性が広がること	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業やゼミなど共同プロジェクトに単位が付く⇒学生が参加しやすくなる
3大学同士の連携室	<ul style="list-style-type: none"> ● 学園祭や地域イベントで3大学を回る機会を作る⇒大学ブースの出店や、事前準備での交流

3大学同士の連携案

大学教員	大学事務局	学生
<ul style="list-style-type: none"> ● 多摩学教育研究センター ● 共同授業⇒活動助成⇒卒論、研究助成⇒公表⇒地域住民、地元高校生等への発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 3大学で得意分野を集結させて地域課題の研究を行い、そこに学生が主体的に関われるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学園祭や地域イベントで3大学を回る機会を作る⇒大学ブースの出店や、事前準備での交流
<ul style="list-style-type: none"> ● 本当のオープンキャンパス開催 ● 子ども、町内会・自治会の人等が来る研究発表、施設紹介、学生の自主活動紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生や教員の交流の場、仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業やゼミなど共同プロジェクトに単位が付く⇒学生が参加しやすくなる

地域で見守る子育てしやすいまちづくり

多摩区にゆかりのある3大学(専修大学・明治大学・日本女子大学)の学生が多摩区を知り、学び、実践する連続プログラム「たまなび」を毎年実施しています。令和7年度は「子育て」をテーマに12名の学生が全8回のプログラムに参加しました。

パパと創る
子育てデザイン
ワークショップに
参加



地域で
子育てする
ママへ
インタビュー



第1~3回

ワークショップ参加やインタビューを実施し、区内で子育てするパパ・ママとの関わりを通して子育ての「楽しさ・難しさ」を学びました。

第4~6回

前半で学んだことをふまえて、親子向けイベント「親子でつくるスマイルフェス」を一から企画・運営しました。

第7・8回

「多摩区の子育ての良いところ、改善点」について、3グループに分かれ、区役所職員や地域の方に向けて大学生ならではのアイデアをプレゼンし、意見交換をしました。

親子でつくる スマイルフェス

12月6日(土)に参加学生と多摩区保育・子育て総合支援センターが連携して実施しました。各ブース出店のほか、学生はチラシとSNSの2チームに分かれ、イベントの広報にも力を入れました。当日は限られた開催時間の中、80人以上の方にお越しいただきました!



ワークショップやイベントなど、各回でさまざまな世代の人と関わることで、どのように話せば印象が良いかを考えるなど、経験になった。自分にはない考えや意見もあり視野が広がった。

イベントを一から企画することや企画したものを広報することの難しさを学び、経験になった。

大学・地域 連携事業

大学の専門的な知見を活かして区内の地域課題を掘り起こし、大学・地域行政の連携により、課題解決に向けた実践的な取組を行っています。

専修大学

デジタル技術を活用した 防災まちづくり手法の開発

専修大学

ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科 佐藤 慶一教授

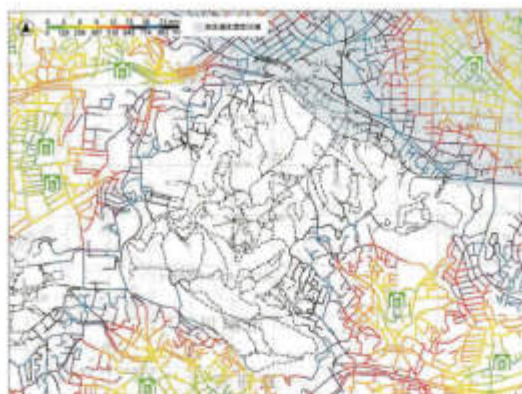
専修大学ネットワーク情報学部の多様な分野（データサイエンス、フィジカルコンピューティング、コンテンツデザイン等）の研究者が共同し、川崎市多摩区をフィールドにデジタル技術を活用した新たな防災まちづくり手法の開発を目指して活動をしています。

令和7年度は、①～④の取組を実施しました。

- ①川崎市多摩区の逃げ地図デジタル版の更新
- ②向ヶ丘遊園駅前の3次元模型の制作
- ③LINEを用いたイベント参加者情報管理システムの開発
- ④農作物栽培とクラフトドリンクやおつまみの開発

さらに、石川県地域コミュニティ再建事業「植物野菜栽培やクラフトドリンクづくりを題材にした体験型交流の実施」にも取り組みました。

1月25日(日)には多摩区で防災活動に取り組む方々と能登半島地震・豪雨の被災地をオンラインで繋いだ地域交流イベントを実施しました。



①川崎市多摩区の逃げ地図デジタル版



③LINEを用いたイベント参加者情報管理システム



岩崎玲子先生を講師に迎えてのセミナーの様子



セミナー後はレストランで交流を深めました

日本女子大学

人生100年時代における あなたの未来を考えよう！ 市民のためのキャリアデザインセミナー

日本女子大学

人間社会学部社会福祉学科 黒岩 亮子教授

7月から9月にかけて3回の連続セミナーを実施しました。市政だより多摩区版を通して20代から60代までの男女15名(うち多摩区在住10名)が参加し、自己理解や未来設計と共に参加者同士の交流も深めました。

このセミナーの特徴は、これまで経験したことのない地域活動を通して学びを深める「越境学習」を行えることです。区内福祉施設へのアンケート調査を実施し、44施設から受け入れ可と回答いただきました。越境学習を希望した7名のうち3名がこれら施設で、残り4名がコミュニティカフェ等で地域活動を行いました。

活動期間中のセミナー講師との相談が、活動継続の支援にもつながりました。1月にはセミナー参加者全員対象のフォローアップセミナーを実施し、半年にわたる自身の学びや活動を振り返り、キャリアと共に地域についても考える機会となりました。

多摩区3大学コンサート

11月8日(土)多摩市民館大ホールにおいて「2025 多摩区3大学コンサート～水と緑と学びのまち～」を開催しました。今年度は専修大学のダンス、明治大学の吹奏楽、日本女子大学の箏曲など、例年以上に個性豊かな演技・演奏をお届けしました。多摩区民をはじめ、毎年コンサートを楽しみにしている方など多くの方が来場され、本格的な演技・演奏を楽しまれました。

専修大学 Dance Team MISAKI

私たちは、ジャズダンスだけでなくヒップホップダンスやチアダンスなども踊ることがあり、プロダンサーの先生の指導を受けながら、自分たちでも振り付けをして発表を行っています。多摩区3大学コンサートではジャズダンスを中心に学年ごとに披露させていただきました。

プログラム

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. Attention | 4. ICY・breakfast |
| 2. Unstoppable | 5. DRESSING ROOM |
| 3. 傘 | 6. SAD SONG |



明治大学 Wind Orchestra

私たちは「音楽を楽しむ」をモットーに日々演奏しております。特に、毎年12月の定期演奏会は1年の集大成です。1年かけて学生だけで作り上げています。入場無料ですのでぜひお越しください！

プログラム

1. シンフォニア・ノビリッシマ
2. September
3. たなばた



日本女子大学 箏曲研究会

1961年の創立以来、60年以上の歴史を持ち、現在も先生の指導のもと、古典曲を中心に日々稽古に励んでいます。毎年開催している定期演奏会では、幅広い世代に箏曲の魅力を届けています。

プログラム

1. さらし風手事
2. 花～すべての人の心に花を～
3. 春



2025 多摩区3大学コンサート 特別企画

多摩区・3大学連携協議会の協定締結20周年を記念して、プログラム終盤には明治大学の演奏のもと「愛は勝つ」を出演者・来場者全員参加で大合唱しました！

この合唱企画は20周年を記念した今年度特別企画でしたが、会場に一体感を生み来場者アンケートでも「感動した」など大変好評いただきました。



キラリ★3大学

地域で輝く大学生を
紹介します

専修大学

専修大学ネットワーク情報学部 Circular Design Lab

私たちは、Circular Society (循環型社会) の実現に向け、持続可能な物質・資源循環、サービス、プロダクト、環境を構築・デザインするためのラボとして活動を進めています。

現在、自然・生態系のバランスを利用した環境再生型農業の実践と学内の空きスペースを利用した都市型スマート農業の模索から取組を開始しています。



活動の様子

専修大学生田ボランティア (SIV)

私たちは、主に防災に関する活動を行っています。令和7年10月には多摩区の下布田小学校の子ども祭りに参加し、子どもたちへ防災に関するクイズを出題するブースを設けました。保護者の方も子供達と一緒にクイズに取り組んでいただき、親子で防災意識を高める良い機会になったと思います。

これからも、私たち自身だけでなく、地域の皆さんと一緒に防災意識を高められるように活動を続けていきたいと考えています。



子ども祭り参加の様子

明治大学

生明祭実行委員会

私たちは、約230名の委員を5つの局に分け、学園祭の開催に向けて日々さまざまな活動に取り組んでいます。

学生団体や外部団体と連携しながら準備を進めるほか、近隣の飲食店や企業の皆さんにも、協賛という形でご協力をいただいています。

学園祭当日は校内が活気にあふれ、大人から子どもまで楽しめる内容となっております。ぜひお気軽にご来場ください。

令和8年は10月30日(金)～11月1日(日)の開催です。



学園祭当日の様子

明治大学ボランティアサークル LINKs

私たちは、環境美化活動やこども食堂などの地域に根ざした取組、災害復興支援など、幅広いボランティア活動を行っています。

地域の方からの依頼による活動だけでなく、自ら企画・実行する活動にも力を入れています。地域の皆様がより快適に過ごせるよう、今後も積極的にボランティアに取り組んでいきます。



子ども食堂手伝いの様子



日本女子大学

日本女子大学ラクロス部

日本女子大学ラクロス部は、毎週土曜日と長期休暇期間中に西生田キャンパスの大学グラウンドにて練習を行っています。

令和7年度は惜しくも関東女子ラクロスリーグ戦2部昇格を逃す結果となってしまいましたが、気持ちを新たに2部へ返り咲くことを目標に練習に励んでいます。



試合後の日本女子大学ラクロス部の様子

JWU PR アンバサダー

日本女子大学を代表して、大学の魅力や特徴を「等身大の声」として幅広い世代に発信する学生組織です。

学部学科や学年を超えて連携し、学園の教育理念である「自学自動(自ら考え、自ら動く)」を基本に、企画立案から発信まで主体的に取り組んでいます。

大学HPや大学公式SNSで、日本女子大学での学生生活が分かるさまざまな情報を発信しているので、ぜひご覧ください!



学園祭での活動の様子

大学と地域の連携 ～特別編～

域学連携 まちづくりシンポジウム

8月1日(金)に多摩市民館で「域学連携まちづくりシンポジウム」を開催しました。

このシンポジウムは、専修大学で向ヶ丘遊園・登戸駅周辺等がより魅力的で活気があふれる場所となっていくための活動を進める「まちづくりGDXラボ」が主催したものです。3大学を中心に、地域連携やまちづくりの先進的な取り組みを行う専門家による講演や、学生による地域活動の具体的な報告を行いました。

地域の方、大学生、行政関係者など約100名が顔を合わせ、地域連携の意義や展望を議論する場となりました。

多摩区・3大学連携協議会としても今後に向けてより一層、大学の豊かな知見を地域へ還元する仕組みづくりを目指していきます。

域学連携とは

大学生や大学教員が地域をフィールドに研究し、地域住民とともに地域課題解決や地域づくりに継続的に取り組み、地域活性化、地域人材育成等に資する活動。



専修大学
まちづくりGDXラボ
Instagram





~3大学トピックス~



専修大学

専修大学国際交流センターでは、国際交流協定校等との学生交流及び教員の受入れなど、様々なプログラムを展開しています。

令和8年度は、アメリカ、ラオスから海外客員教授を招聘し、全編やさしい英語の公開講座を実施します。毎回わかりやすい英語で、各国の現状や経済などについて講演いただきます。

海外の大学教授の講義を聴くことができるため、大変好評です。参加費無料、1回完結型の講義です。開催日時など詳しくは同センターHPで。



国際交流センターHP

明治大学

明治大学生田キャンパス内の平和教育登戸研究所資料館では、企画展「その時、私たちは戦うことを命じられた」を開催中です(5月30日(土)まで)。

米軍日本本土上陸に備え、1944年より日本は「本土決戦」準備を進めていきました。その実態を解明します。また、5月20日(水)～6月8日(月)には昨年大きな反響をいただいた「風船爆弾と本土決戦準備一女の子たちの戦争」の再展示を、センターフォレスト1階 Gallery Zeroで行います。こちらもあわせてぜひご来場ください。関連イベントも開催しますので、詳しくは同資料館HPで。



登戸研究所資料館HP



日本女子大学

生涯学習センター公開講座

「『源氏物語』の和歌—紫式部のめざしたもの—」

西生田キャンパスの生涯学習センターで2026年前期に開講する公開講座の中から、「『源氏物語』の和歌」について紹介します。

「源氏物語」には795首の歌が収められ、それらを約100人の人物が詠んでいます。紫式部は、上手な歌、下手な歌を詠み分けていました。歌とはいかに詠むべきかを「源氏物語」の中で実験しているかのようなのです。

本講座では和歌の基本的な読み解き方を捉え、「源氏物語」の和歌を通して紫式部が何を描きたかったかを探ります。一昨年の大河ドラマの和歌考証を務めた講師がドラマに登場した和歌についてもお話しします。詳細は同講座HPで。

日時：5月23日(土) 13時半～15時(全1回)



「源氏物語」の和歌について



生涯学習センターHP



発行：多摩区・3大学連携協議会
(事務局)多摩区役所まちづくり推進部企画課

〒214-8570 神奈川県川崎市多摩区登戸1775-1

TEL 044-935-3147 FAX 044-935-3391

E-mail 71kikaku@city.kawasaki.jp

たまなびNewsの過去号は区HPでご覧いただけます▶

